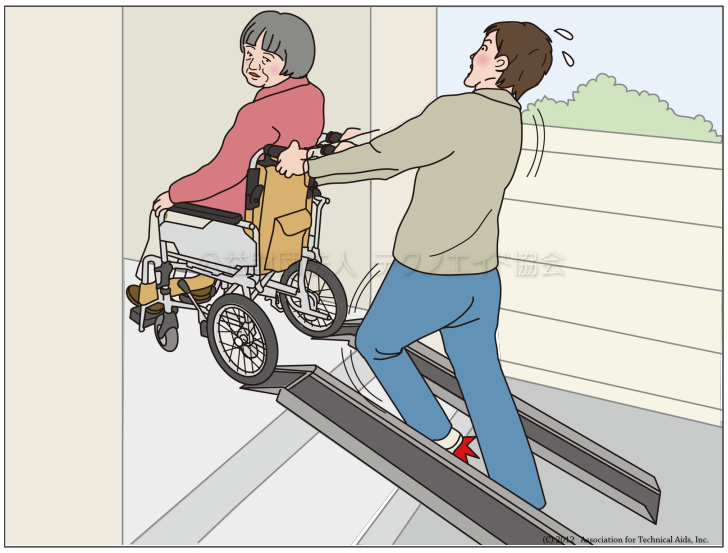
福祉用具ヒヤリハット　研修教材（講師用）

Case：149
階段を踏み外し、転倒しそうになる

場面の説明

足元をよく見ずに階段を下りたため、足を踏み外して転倒しそうになった



利用シーン	移動 階段の昇り降り
主な利用場所	階段 玄関 段差・縁石
介護保険の種目	スロープ
分類コード (CCTA95)	183015 (携帯用スロープ)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

この事例のようなレール形のスロープで起こり易い事例です。スロープで段差を下りる場合、介助者は後ろ向きになることが基本となりますが、レール形のスロープでは、足元が狭くまた見づらいために注意が必要です。車いすの手押しハンドルにブレーキが付いていると、介助にも少し余裕が生まれます。介助力と段差の高さに合わせ、スロープの形態や車いすの機能を選定しましょう。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：スロープにタイヤを乗せることに気をとられていた
人：足元をよく見ていなかった
モノ：短めのスロープで、角度が急だった
環境：敷地の関係で、緩やかな長めのスロープを利用できなかった

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.

福祉用具ヒヤリハット　研修教材（受講者用）

日付：	所属：	氏名：

Case：149

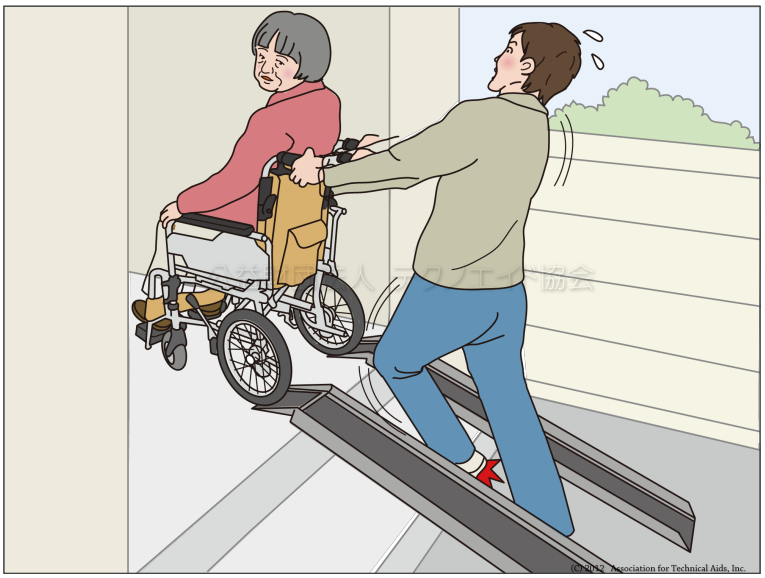
階段を踏み外し、転倒しそうになる

事例詳細

回答前に見ないこと

場面の説明

足元をよく見ずに階段を下りたため、足を踏み外して転倒しそうになった



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ

Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.